

平成30年度 電子航法研究所講演会

日時 2018.12/3 [MON] 13:00-16:40

会場 なかのZERO「小ホール」

国際標準化に貢献する ENRIの研究

- 空港運用の安全と効率化に向けて -

12:00 開場

13:00 開会挨拶 海上・港湾・航空技術研究所 理事長 大和 裕幸

13:05 電子航法研究所 特別研究主幹
植木 隆央 (15分)

▶「空港運用のさらなる安全と効率化に向けて
- 電子航法研究所の最近の活動 - 」

13:20 招待講演
EUROCAE 技術部長
Ms. Anna von Groote (60分)
※逐次通訳があります

▶「欧州が考える将来の航空と EUROCAE による航
空関連システムの標準化」

EUROCAE will present standardisation activities on current and future-oriented, innovate technical solutions. The presentation will provide an overview of the European and global context of aviation standardisation and discuss the link between R&D, standardisation and deployment. It will highlight how Japanese stakeholders can effectively join the standardisation efforts and benefit from the results.

14:20 電子航法研究所 航空交通管理領域
主幹研究員
井上 諭 (40分)

▶「遠隔型空港業務支援システムの開発」

電子航法研究所ではタワーをカメラや監視センサーのネットワークでつなぎ、空港から離れた場所で空港の管制業務が可能とするための「リモートタワー」と言われるシステムの技術開発を行っている。これまでシステム構築してきたカメラや表示系システムを中心に開発状況について報告するとともに、世界のリモートタワーの動向などについても併せて紹介をする。

15:00 休憩 (15分)

15:15 電子航法研究所 航法システム領域
主幹研究員
吉原 貴之 (40分)

▶「GBASに関する国際標準化活動への取り組み」

GNSS を利用した進入着陸システム GBAS の導入が進みつつあり、カテゴリⅢの国際標準が発効されるところである。本発表では GBAS の国際動向を紹介し、電子航法研究所の GBAS に関する国際標準化への参画について報告する。

15:55 電子航法研究所 監視通信領域
上席研究員
米本 成人 (40分)

▶「滑走路異物検出システムに関する研究と
国内外の動向について」

滑走路面に落下している異物を検出するための異物検出システムについて、電子航法研究所で行っている研究を紹介するとともに、国際標準化活動および国内で議論されている実用化のための検討状況について報告する。

16:35 閉会の辞 電子航法研究所 所長 小瀬木 滋

お申込み方法 URL www.enri.go.jp/

受付時の混乱を避けるため、事前登録をお願いしております。
参加ご希望の方はホームページからお申込みください。



※講演者及び発表内容は変更される場合があります。最新の情報はホームページでご案内しておりますので、ご確認ください。

